

岩手県住田町における地域情報化の取り組み

～平成19年度総務省地域情報通信基盤整備推進交付金事業～



< 住田町の概要 >

- ・地勢：町面積の9割が森林
尾根と沢の高低差が大きい
ため沢沿いに集落が集中している
典型的な中山間地域
- ・人口：6,884人（H17国調）
- ・世帯：2,225世帯
- ・高齢化率：38%
- ・基盤産業：第1次産業（農業・林業）

All rights reserved

住田町が抱える情報化の課題

・テレビ難視聴

住民の98%が共同受信施設組合に加入。地上デジタル放送に向けて半数以上がデジタル化困難共聴世帯であり大規模な改修が必要。

・ブロードバンド

ADSL世帯カバー率は39%。提供エリア外にある3つの学校はINS回線で利用しており情報学習の公平性が確保されていない。

・防災告知

昭和58年に防災行政無線設備の整備を実施したが不感エリアが存在している。また、老朽化に伴い更新時期を迎えている。

・地域公共ネットワーク

通信事業者の専用線サービスで接続しており自由度が低い。

・携帯電話不感地域

採算性の問題からエリア拡大が進まない。

情報基盤整備のための検討会の設立

検討会メンバー

総務省東北総合通信局 情報通信部情報通信振興課 放送部有線放送課	2名
岩手県地域振興部IT推進課	1名
住民	11名
住田町	4名



- 総合的地域情報化計画の提案
- デジタルディバイド解消のための整備手法の検討
- 需要喚起のための住民サービス（アプリケーション）の検討
- 運営スタイルの検討
- ・公設公営、公設民営、民設民営
- ・H E 共用、I R Uによる芯線貸
- 計画実現に係る経費の検討
- 国や県の支援制度の活用可能性検討
- アンケート内容検討

民意を反映するためにアンケートの実施

配布枚数500枚 回収枚数397枚 回収率79%

アプリケーションの検討

住田町地域情報化に関する
住民アンケート調査のお願い



一人でもたくさんの町民の皆さんのご回答をお待ちしています。

平成 18 年 8 月
住田町 役場

順位	ぜひ利用したいと回答した割合	
1位	47%	宅内の告知端末から防災情報が放送されるサービス
2位	27%	テレビで地域情報番組が見れるサービス
3位	24%	保健センターと希望者宅を結び、健康状態を定期的に管理するサービス
4位	23%	町内なら無料で通話できるインターネット電話サービス
5位	22%	様々な専用チャンネルが見れる多チャンネルサービス
6位以下		VOD、電子申請、高速BB、交流掲示板サービス

施設概要図

(1) テレビ放送

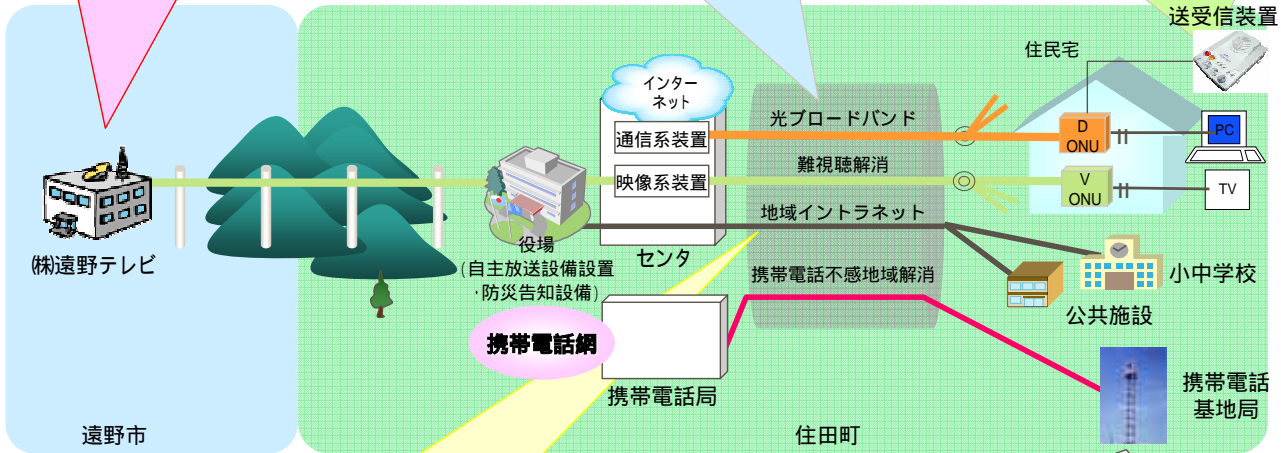
本町が有線テレビジョン放送事業者となり、遠野市の(株)遠野テレビから信号の供給を受け、テレビ放送を再送信。また、自主放送の運営についても連携。

(2) 光ブロードバンド

本事業で整備する光ファイバをIRU契約によりNTT東日本に開放し、住田町全域で都市部と同等の光ブロードバンドサービスを利用可能な環境を整備。

(3) コミュニティ情報

各世帯に宅内送受信装置を設置し、コミュニティ情報、行政情報、防災情報等の各種情報を送信。



(4) 地域イントラネット基盤施設整備

町内の学校及び公民館、役場等の公共施設間を光ファイバ網で接続する地域公共ネットワークを整備。

(5) 携帯電話不感地域解消

本事業で整備する光ファイバを移動体通信事業者へ開放することにより、携帯電話不感地域の解消を図る。

小さな自治体が将来的に安定したサービスを提供するために公設民営方式を導入

施設概要・事業費

施設概要

局舎	センター1箇所、サブセンター2箇所
伝送路	光ケーブル 約200km
伝送容量	1500MHz
加入世帯数	2,290世帯
共添架柱数	東北電力(株) 1,418本 東日本電信電話(株) 3,178本 自営柱等 221本

事業費

総事業費 956,250千円

財源

- 地域情報通信基盤整備推進交付金(総務省)
- 過疎対策事業債(総務省)
- 市町村総合補助金(岩手県)